

「おおたの子どもポスター」から「大田区立蓮沼中学校こどもポスター」へ

皆さん、「おおたの子どもポスター」をご存知ですか。分からない人は教室の前か後ろの上方壁面を見てみてください。このポスターは平成24年に大田区立小・中学校の児童・生徒、教師、保護者が、どのような心構えで学習や教育に臨んでいくのかということを謳ったものです。先日の生徒会朝礼でもお話ししました。

このたび、令和6年4月に「おおた教育ビジョン」が改訂されたのを機会に、「おおたの子どもポスター」を改定することになりました。改訂にあたり、今までは大田区教育委員会が文言を取りまとめていましたが、今回より各小・中学校において、こども、教師、保護者・地域のそれぞれが果たすべきことを明確にし、よりよい学びの場をつくっていかうということで、「大田区立蓮沼中学校こどもポスター」と名称を変更し、新しいポスターを策定することとなりました（以下、「新ポスター」という）。

「新ポスター」の基となる「おおた教育ビジョン」（別名「大田区教育振興基本計画」）は大田区の将来像を実現するための教育分野の基本計画です。今回第4期（令和6～10年度の5年間）となる「おおた教育ビジョン」の中には、大田区の教育が目指すこども像、それを具現化するための理念、実現のための基本方針・目標・施策等が詳しく書いてあります。「おおた教育ビジョン」の詳細について、ぜひこちらをご覧ください。



<https://www.city.ota.tokyo.jp/kyouiku/kyouikuseisaku/otakyouikubijyon.html>

さらに、「おおた教育ビジョン」は、区が掲げる「大田区基本構想」、都が掲げる「東京都教育ビジョン」、国が定める「教育基本法」等の考え方に基づいたものとなっており、「教育基本法」には次のような条文が示されています。（一部抜粋）

第五条 国民は、その保護する子に、（中略）普通教育を受けさせる義務を負う。

第六条 学校においては、教育を受ける者が（中略）自ら進んで学習に取り組む意欲を高めることを重視して行われなければならない。

第九条 教員は、自己の崇高な使命を深く自覚し、絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に努めなければならない。

第十条 父母その他の保護者は、子の教育について第一義的責任を有するものであって、生活のために必要な習慣を身に付けさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする。

国及び地方公共団体は、家庭教育の自主性を尊重しつつ、保護者に対する学習の機会及び情報の提供その他の家庭教育を支援するために必要な施策を講ずるよう努めなければならない。

第十三条 学校、家庭及び地域住民その他の関係者は、教育におけるそれぞれの役割と責任を自覚するとともに、相互の連携及び協力を努めるものとする。

つまり、「教育は、こども（生徒）、教員（学校）、保護者（家庭）、地域住民や関係者が、互いに連携・協力して進められるものであり、それぞれの役割をきちんと果たそう。」ということなのです。このことを基本として「おおた教育ビジョン」がつくられ、それをもとに「新ポスター」をつくらうとしているのです。

さて、「新ポスター」の策定にあたり、次頁のようにしたいと思いますので皆さん協力してください。

「大田区立蓮沼中学校こどもポスター」策定に向けて

1 目的

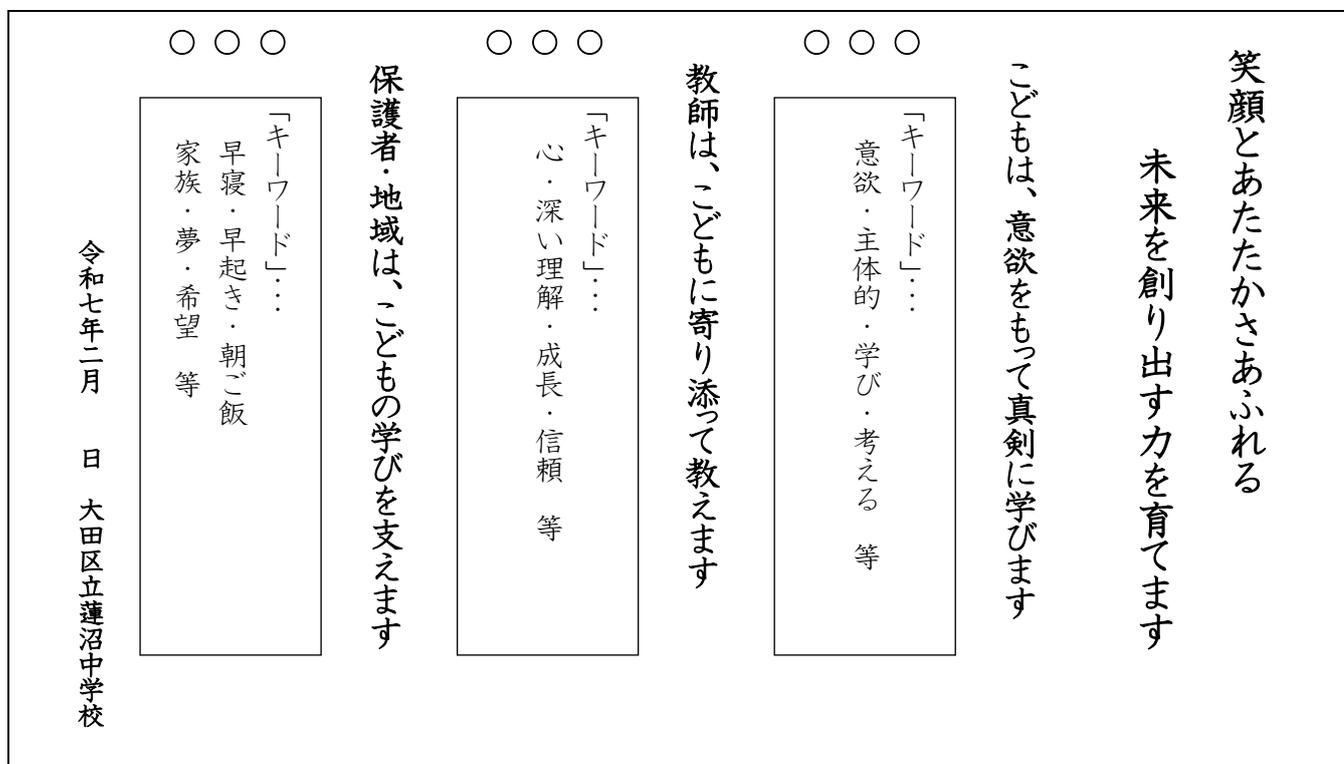
「おおた教育ビジョン」に基づき、「こども、教師、保護者・地域の姿」を示す「大田区立蓮沼中学校こどもポスター」を教室に掲示し、それぞれの果たすべきことを明確にし、教室を「笑顔とあたたかさあふれる未来を創り出す力を育てる学びの場」となるよう推進する。

2 方法

下記の○印の部分の当てはまる言葉を、「キーワード」を用いて考え、提案してください。

- こどもは～ の後に続く○印の部分 を 生徒会学級委員会 から提案する。 ①
教師は～ の後に続く○印の部分 を 教職員 から提案する。 ②
保護者・地域は～ の後に続く○印の部分 を 保護者・地域 から提案する。 ③

改定案【大田区立蓮沼中学校こどもポスター】



今後の詳しい手順等については別途連絡します。皆さんの英知と熱意を結集し、素晴らしいものが出来上がるよう心より望んでいます。

(文責 主幹教諭 佐藤 豊)

「一心同体 ～蓮中生が創り上げる成果の場～」

10月19日(土)蓮中祭(舞台発表の部)が開催され、多くの保護者・地域の方々・ご来賓の方々に参観していただき、誠にありがとうございました。今回の蓮中祭(舞台発表の部)は、生徒自身が主体的に運営することにより、自ら考え、判断し、行動する力を身につけることを目的の第一として開催いたしました。「一心同体～蓮中生が創り上げる成果の場～」のスローガンのもと、見事にその目的を果たすことができたのではないかと思います。そして、その成果を今後の学校生活や学習に生かしてほしいと思います。さらには、課題等がなかったかどうか詳しく分析し、次回開催等につなげていければと考えています。